

あいち清流

一般社団法人 愛知県環境測定分析協会



2023/7/20
会報 第156号



「大地の力」

撮影地：御門杉
(猿投山の登山口にある大きな樹です)
撮影日：2022年8月28日
提供：井ノ口 綾夏氏
(一般財団法人東海技術センター)

コメント：猿投山に登る登山者を出迎えてくれます。太い幹から伸び出るとたくさんの枝と緑がとても力強く、大きなパワーを感じました。

目次

令和5年度 定時社員総会報告	2
一般社団法人愛知県環境測定分析協会の組織改編について	3
新理事紹介	4

委員会活動報告	5
賛助会員紹介	7
事務局からのお知らせ	8

四季折々

「プロギング」との言葉をご存じでしょうか？先日の環境月間講演会でも紹介されたのでまだ耳に新しい方もみえるかもしれません。プロギングとはスウェーデン語でゴミ拾い(PlockaUpp)とジョギング(Jogging)を合わせたフィットネスとのことです。海洋プラスチック問題に対する意識の拡がりと共に成長した立派な社会貢献活動のように見えますが、あくまでスポーツであることが前提で参加者それぞれが楽しむことを優先に賛同する人がどんどん増えているようです。拾う動作、立ち止まり、また走る動作を行うことで通常のジョギングよりかなり大きなフィットネス効果も見込めるとか。皆さんもいかがでしょうか。

GW明けの5類感染症への移行からコロナ2019の話題もめっきり聞く事が減りました。ですがコロナウイルスがどこかに消え去った訳ではなく、定点観測となった現在

も少しずつ感染者は増えている状況のようです。世の中では夜の酒席へのお誘いも元に戻りつつあり、そこへ実際出席したりもしておりますが、気を抜ききることなく最低限の防衛は必要になるかと思われまます。

今年の名古屋は平年より少し早めの5月29日頃に梅雨入りとなりました。地球温暖化の影響と言われておりますが、近年の梅雨は「線状降水帯」や「ゲリラ豪雨」との新しい言葉が生まれ既に定着し、私の育ったウン十年前と比べてかなり激しいものとなってきています。いつ災害に見舞われることになるか判らない時代となってしまいました。備えを着実に、いざという時焦らずに済むよう準備を心掛けたいものです。

文責：加藤 直孝

令和5年度 定時社員総会報告

事務局長 飯沼 克己

一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和5年度定時社員総会が5月29日、愛知県環境局技監 近藤浩史様と愛知県経済産業局中小企業部商業流通課長 田口秀春様のご臨席を賜り、名古屋市熱田区のサイプレスガーデンホテルにおいて開催されました。

昨年度に引き続き「集会形式」での開催でしたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策（机上にパーティション設置、懇親会における大声の談笑自粛等）に配慮しながらの開催であったのに対し、今年度は一切の制限なしで開催することができました（実に4年ぶりです）。

総会は、正会員63名中57名（委任状も含む。）のご出席のもと、はじめに大野会長の挨拶と来賓の近藤様にご祝辞をいただきました。

続いて議事の審議に移り、事務局による説明の後に採決が行われ、令和4年度の事業報告及び収支決算並びに令和5年度事業計画及び収支予算等は全て承認されました。

また、役員を選任については、現任に加えて2名の役員が新任として選出され、総会後の理事会において、会長には大野哲氏（再任）、副会長には林辰哉氏（再任）及び濱地清市氏（新任）が選定されました。

表1 令和5～6年度 愛環協役員一覧

役員	氏名	所属事業所
会長	大野 哲	株式会社イズミテック
副会長	濱地 清市	株式会社ユニケミー
副会長	林 辰哉	一般財団法人東海技術センター
理事	阿部 裕士	株式会社三進製作所
理事	伊藤 諭志	東亜環境サービス株式会社
理事	大場 恵史	株式会社東海分析化学研究所
理事	加藤 廣人	一般社団法人愛知県薬剤師会
理事	角 信彦	株式会社愛研
理事	林 昌史	株式会社環境科学研究所
理事	吉田 謙	株式会社テクノ中部
監事	金田 哲夫	株式会社環境公害センター
監事	柴田 金作	藤吉工業株式会社

（加藤廣人氏と吉田謙氏が新たに就任されました。）

総会に先立ち、表彰式が行われ、計量士として長年計量管理の推進に貢献された株式会社ユニケミーの池田寛氏及び一般社団法人愛知県薬剤師会の小川光寛氏が愛知県計量関係功労者として愛知県知事から表彰を受け、続いて正会員従業員表彰として9名が大野会長から表彰を受けました。

表2 愛知県計量関係功労者表彰受賞者

氏名	所属事業所
池田 寛	株式会社ユニケミー
小川 光寛	一般社団法人愛知県薬剤師会

表3 正会員従業員表彰受賞者

氏名	所属事業所
畦元 由理子	一般財団法人東海技術センター
池田 賢治	株式会社大同分析リサーチ
刑部 薫子	株式会社ユニケミー
木村 成宏	株式会社環境公害センター
黒太 茂	一般社団法人愛知県薬剤師会
小林 央知	株式会社愛研
多田 香	一般社団法人愛知県薬剤師会
早野 健作	株式会社イズミテック
真野 佳典	株式会社環境科学研究所

また、「令和5年度環境に関する喚起標語」入選者の表彰も行われ、株式会社環境科学研究所の松井さやか氏の作品が特選となりました。

【特選作品】

『小さな変化は 大きな異常の第一歩
見過ごすことなく 正しい計量』

さらに、第6回写真コンテストの四季部門金賞として株式会社環境科学研究所の和賀登基文氏の「秋の気配」と、測定・分析部門金賞として株式会社環境公害センターの水野由教氏の「残留塩素」がそれぞれ表彰を受けました。

総会終了後、東京海上日動火災保険株式会社 マーケット戦略部 GX室兼地域連携室の古林功太郎様による『はじめてのGX』と題した特別講演が行われました。

GX（グリーン・トランスフォーメーション）とは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組（カーボンニュートラル）を通じて、産業構造や社会経済を変革し、成長につなげる取組のことですが、なぜGXが必要なのか、

また具体的に何をすればいいのか、などについて分かりやすくお話いただきました。

愛環協会員一社一社の取組による効果はわずかかも知れませんが、愛環協83社全体を合わせると大きな効果が現れると思います。まずできることから始め、取組を徐々に拡大していくことの大切さを改めて痛感した次第です。

特別講演会後の懇親会には、昨年度より20名ほど多い64名の方々にご参加いただきました。

昨年度のような「談笑時のマスク着用」「お酌の自粛」といった制限もなく、久々に賑やかな会合になり「コロナ禍前の日常」が戻りつつあることを実感できました。

一般社団法人愛知県環境測定分析協会の組織改編について

会長 大野 哲

1. 委員会の活動と再編について

当協会は、1977年(昭和52年)8月に環境の改善、並びに公害防止の一翼を担うため、異業種からの参入を含む約50のメンバーが集結して設立されました。設立後は、発起人を中心とする理事の方々のご尽力と愛知県のご指導により、環境計量証明業の基盤となる事業規程モデルや計量証明書の様式、環境計量士の研修や教育などの課題に対して様々な委員会を設置して積極的に取り組み、協会活動を推進して参りました。そうした努力の結果、現在では、県単の計量証明事業の団体としては、全国の模範となるような組織体制を確立しています。

現在、愛環協は、各委員長で構成する総務委員会を始めとして、環境計量証明事業の維持向上と普及を促すための教育研修活動、大気・水質・騒音振動などの分析測定技術の確立、また広報誌の制作やホームページの維持管理、環境講演会イベントなどの広報活動に加えて災害時の調査協力に対応するなど各種委員会を設置し、社会のニーズに合わせて事業活動が実施できる体制となっています。この体制は、創立当初から理事会が団結して時代のニーズに合わせて常に各委員会を活性化させてきた愛環協の文化にポイントがあると思います。コロナ禍となり研修会や講演会などの開催が危ぶまれた時にも各委員会の協力と柔軟な連携によりオンライン化を進めた結果、愛環協の事業を途切れることなく推進することができました。これも各委員会を担う理事がまとまり、協会に対して尽力していただいた結果だと思えます。

しかしながら当協会が誕生して約30年が経過した2005年の80余の会員数をピークに会員数の減少傾向が見

られます。協会設立45年を迎えた昨年度は、会員数は63となっています。減少の原因としては、環境計量証明事業からの撤退が見られます。そうした実態の中で、より効率的かつ効果的に協会事業を推進するため、組織のリニューアルを実施して参りました。そして本年度からは、総務委員会、教育研修委員会、技術委員会、災害緊急時対応委員会を機軸としてイベントの企画と対外交流、広報活動を企画・広報委員会に集約し、さらに機敏な対応を可能にする組織体制といたしました。今回新体制への移行にあわせて、役員人事におきましても若手の理事の起用を目的として、林辰哉副会長(一般財団法人東海技術センター)に加えて新たに濱地清市理事(株式会社ユニケミー)を副会長とする体制といたしました。また技術委員会の委員長には、理事メンバーの中でも最年少となる伊藤諭志理事(東亜環境サービス株式会社)に就任していただき、理事会の若返りを図っております。

表4 委員会を再編した新体制

理事会及び委員会	役割
理事会	協会活動の決定と監督
総務委員会	各事業の審議
企画・広報委員会	セミナー等の企画、及び協会PR
教育研修委員会	技術者の教育及び育成
技術委員会	大気・水質・騒音振動などの 分析と測定技術の共有
災害緊急時対応委員会	協定を締結した自治体との連携

また前ホームページ委員会活動の集大成として、昨年より準備を進めてまいりましたホームページのリニューアルがこの度完了し、企画・広報委員会に引き継がれました。シンプルな画面で見やすくなっただけでなく、事務局員による更新がしやすくなり、ホームページの更新がよりスムーズになりました。



新ホームページのトップ画面

(新URL: <https://aikankyo.ematg-web.jp/>)

2. ブロックの再編について

ブロック編成におきましては、これまでの名古屋地区の3ブロックと尾張と三河の合計5ブロック体制を会員数のバランスを考慮して見直しをおこないました。今年度より旧第3ブロックと旧第4ブロックを統合し、名称も愛知県歴史にちなんで尾張エリアと三河エリアに分け、尾張第1ブロック（旧第1ブロック）、尾張第2ブロック（旧第2ブロック）、尾張第3ブロック（旧第3・第4ブロック）、三河第1ブロック（旧第5ブロック）とし、名称も刷新いたしました。

表5 新ブロック組織

新名称	ブロック長
尾張 第1ブロック	吉田 謙 (株式会社テクノ中部)
尾張 第2ブロック	林 昌史 (株式会社環境科学研究所)
尾張 第3ブロック	阿部 裕士 (株式会社三進製作所)
三河 第1ブロック	大場 恵史 (株式会社東海分析化学研究所)

残念ながらコロナ禍によりこの3年間は、ブロック会議を開催することができませんでした。新しいブロック体制のもと新たな気持ちでブロック会議を再開したいと思います。本来の会議の目的である、ブロック単位での会員同士の交流、会員の皆さんとの課題の共有や協会としての事業の進め方などについて会員の皆さんの忌憚のないご意見を集めながら親睦を深めたいと思います。是非ご参加をお願いいたします。

3. これからの愛環協について

近年は、日本各地に公害があった時代の記憶が薄くなりつつあります。今後、公害問題に取り組んできた愛環協の役割は、益々重要になるものと思います。

ものづくりを主産業としている愛知県は、環境に対する意識のレベルが高いと思います。環境を大切に、保全する活動を支えることは愛環協の使命でもあります。私たちは環境の規制緩和が進む今日だからこそ、行政の皆さんや企業の皆さんと連携して、環境計量証明の意義と役割を次世代に残さなければなりません。

人々が安心して暮らせる愛知の環境を守るために、精度の高い環境計量証明事業を通じて環境保全活動の普及に貢献してまいりたいと思います。会員の皆様におかれましては、これからも環境計量士をはじめとする技術者の育成と、分析測定技術の継承に努めていただき、私たちの事業の発展を推進するために、協会事業へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

会長 大野 哲

新理事紹介

一般社団法人愛知県薬剤師会
生活科学センター 所長 加藤 廣人

一般社団法人愛知県薬剤師会の加藤廣人です。昭和52年に設立され、長い歴史と数多くの実績を有しておられる愛環協の理事を拝命し、このような重責が務まるのかと自問自答している状況です。

私は、昭和52年に薬剤師となり、同年に愛知県に奉職しました。薬剤師と言っても調剤や医薬品供給に携わったことはなく、もっぱら、感染症対策や麻薬対策、環境衛生対策に携わってきました。新型コロナウイルス感染症では、連日、保健師さんたちの八面六臂の働きが報じられていましたが、愛知県では感染症対策は主に薬剤師が担っています。1987年頃からのエイズ問題や、2009年からの新型インフルエンザウイルス流行時には担当として従事しました。また、県の麻薬取締員にも薬剤師が任用されています。私も司法警察員として捜索差押令状をもって、いわゆるガサ入れをしたり、調書をとって、検察庁に送致をしたり。かと思えば、環境衛生対策で、夏の海水浴場の海水やプール水の採水と検査も行いました。

この様な業務に携わり、いつも思っていたのは信頼できる正確な検査結果が行政指導等の基盤となっているということです。

やや畑違いのところから来た人間ですが、協会の目的である「測定分析技術の進展」による「環境保全の推進」に少しでも寄与できればと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



加藤 廣人 理事

新理事紹介

株式会社テクノ中部
測定分析センター 分析グループ 吉田 謙

このたび、愛環協の理事を拝命しました、株式会社テクノ中部の吉田謙です。理事という重責をしっかりと務められるよう、微力ながら精一杯努力させていただきます。

私は昭和43年に名古屋市で生まれました。大学は水産学部で、卒業後テクノ中部に入社し、水域環境調査に30年携わった後、現在の測定分析センターに異動となり2年が経ちます。若手・中堅の頃は、海・川・ダム の現場調査に数多く出るとともに、分析担当から回付される様々な生物分析データと水質分析データを取りまとめてきましたが、「水環境」だけでも非常に奥深く、毎年のように新たな知見を得て勉強しながらの毎日でした。

調査・コンサル業界、測定・分析業界に共通して、人類にとって非常に重要な環境問題の解決の基礎を、優れた技術力で支えているにもかかわらず、なかなか景気の良い話をあまり聞きません。また、日本の少子高齢化が進行する中、わが業界も例外ではなく、技術者の高齢化、若手技術者の採用・定着の難しさ等、おおむね共通する課題を持っているものと思います。

今後の協会活動を通じて、少しでも業界の課題が良い方向に向かうようにできれば幸いです。今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。



吉田 謙 理事



委員会活動報告

◇ 総務委員会

第1回総務委員会を4月24日に書面開催いたしました。委員会では155号に掲載済みの令和4年度景況調査結果について報告するとともに、5月29日開催の定時社員総会における正会員従業員表彰候補者の書類審査をおこないました。本年度定時社員総会において正会員従業員表彰を受けられました皆様、おめでとうございます。環境計量技術の維持発展に向け、さらなる研鑽を積まれることをご祈念申し上げます。

引き続き、総務委員長を務めさせていただくこととなりました。各委員長で構成される総務委員会は要の組織であり、委員長の顔触れも少し変わりました。新たな気持ちと新たな風で協力し合い、総務委員会活動をおこなってまいります。



総務委員長 林 辰哉

◇ 教育研修委員会

6月22日、23日に27名が参加してオンラインで環境測定分析新任者研修会を開催しました。

教育研修委員会は、7月28日に精度管理研修会①【基礎統計コース】の開催を予定しています。その後、9月に精度管理研修会②【中堅実務コース】、11月に環境計量士等研修会、SOP研修会を来年1月に開催する予定です。多数のご参加をお待ちしております。

なお、今年度から副会長と教育研修委員長を拝命しました。質と量で日本一の県単と言われる愛環協の研修事業を会員企業様の人材育成により貢献できるよう、引き続き時代に合わせて一歩ずつ進化させて参ります。よろしくをお願いいたします。



教育研修委員長 濱地 清市

◇ 技術委員会（水質、大気、騒音）

5月11日に技術委員の第1回全体会議を開催しましたので報告いたします。

☆水質・土壌ワーキンググループ

今年も共同実験を行います。今回は模擬排水中のひ素、セレンを対象として、現在実施中です。8月10日を報告期限としていますので、それまでにご提出ください。共同実験結果検討会は12月初旬を予定しています。

☆大気・臭気ワーキンググループ

今期人の入れ替わりと増員があり、新任委員3名を含め、6人体制で運営します。今年度は勉強会を予定しています。講師には温湿度計でお馴染みの株式会社テスト様に登壇していただく予定です。時期は令和6年1月下旬～2月上旬ごろを予定しています。

☆騒音・振動ワーキンググループ

昨年度行った共同実験の結果検討会を5月30日に行いました。今年度は勉強会を予定しています。開催内容は、昨年度の共同実験のアンケート結果を踏まえて検討します。時期は令和6年1月頃を予定しています。

以下、技術委員長としての抱負とさせていただきます。

今期より、土屋前委員長より技術委員長を引継ぎました。

技術委員会では、会員様の技術向上のために共同実験や勉強会などを行っています。これらに参加することで、同じ技術を学びたいと思っている人と出会うことができ、そういった出会いを通じて得られる学びがあります。共に学び、計量証明事業の未来を作っていきましょう。

協会員の皆様の学びになれるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



技術委員長 伊藤 諭志

◇ 企画・広報委員会

令和4年度第5回理事会（令和5年3月16日開催）において委員会の再編が承認され、「企画・対外交渉委員会」と「広報・ホームページ委員会」が統合して、新たに「企画・広報委員会」が設置されました。そして今年度より企画・広報委員長を務めることになりました株式会社愛研の角信彦です。よろしくお願いいたします。

令和5年度第1回の委員会を6月2日に開催しました。新メンバーによる今年度の活動予定について協議を行い、当面の作業として本号会報誌の編集に取り掛かることになりました。また、委員会終了後には旧メンバーも加わり会員同士の懇親を深めて新委員会がスタートしました。

今後、委員会では会報誌の発行、施設見学会の開催、各講演会講師の選定などこれまでの協会事業に加え、会員として有意性のある新たな事業を企画できればと考えております。会員の皆様には、協会事業への積極的なご参加とご協力をお願い申し上げます。



企画・広報委員長 角 信彦

◇ 災害緊急時対応委員会

本年度第1回目となる災害緊急時対応委員会を6月26日に当協会事務局会議室で開催し、今年度の活動予定について確認を行いました。また、本委員会に引き続き大阪環境測定分析事業者協会様を迎えて県単としての災害時の連携のあり方などについて意見交換を行いました。

近年、日本の各地での規模の大きな地震や水害が頻発しており、災害に対する備えは益々重要になっています。災害緊急時対応委員会では当地域での大規模災害発生時の対応をより確実に行えるよう協定締結自治体、災害時相互支援協定を締結している他県単との連携の強化に平時から委員全員で協力して取り組んでまいります。会員の皆様におかれましては自社のBCP（事業継続計画）の向上と当委員会活動に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。



災害緊急時対応委員長 林 昌史

賛助会員紹介

株式会社 エイビス
環境ソリューション本部 営業部 課長 小池 翼

お客様に喜ばれること 社会のお役に立つことをめざして

エイビスの核は、心の“絆”です。

今、もっとも大切にしたいさまざまな“絆”を商品開発というかたちに変えて提供する。元気で快適な、人にやさしい社会づくり、そして美しい地球の未来に貢献する。これが私たちの使命です。

21世紀を生きる企業の一つとして、また地球の未来を担う人として、「地球環境の問題」は最も重要なキーワードとなっています。当社では平成9年9月9日の創業以来、「環境」を一番の柱に、環境検査分野のシステム開発を手掛けてまいりました。

水質検査を始め、大気測定、作業環境測定、食品検査、簡易専用水道、浄化槽、石綿分析、衛生検査・・・など様々な環境検査業務を効率良く管理できるパッケージをお客様へ提供させて頂いております。

現在では民間検査機関、厚生労働省の指定検査機関、水道局、水道企業団、工場まで幅広くご活用頂いております。それぞれの市場でNo.1を目指してこれからも長くお客様に支えられるサービスを提供してまいります。

製品紹介



当社パッケージである環境検査システムは時代と共に大きく進化してきました。オンプレミスでのご提案はもちろん、最近ではクラウドサービス製品である「eaXROSS」をリリースし、サービスの提供を始めました。

【分析システム】

検体の受入～報告書発行まで、業務の軸となる部分を管理できる製品として作成しております。

ラインナップは業務に合わせた多くの製品をご用意しております。



基本的な検体の管理はもちろん、特徴として下記の様な多くの機能を有しております。

- ・判定支援：基準判定、傾向管理
- ・見える化：納期管理、トレンドグラフ
- ・改ざん防止：承認管理、操作ログ、変更履歴
- ・報告書管理：報告書作成、過去データ管理

【業務管理システム】

分析システムと合わせてさらに業務全体を管理したいとのご要望に合わせて見積受注～販売管理までトータル的にサポートする製品となります。これらのシステムは分析システムと共通のマスタを利用でき、情報の転記や他システムへの連携といった複雑な運用からも解放されます。見積受注では営業担当者の見積管理が行えます。計画管理ではサンプリング計画、予定変更、現場用ラベル発行等の管理が行えます。販売管理では売上、請求、入金等の管理に加え様々な売上データの分析が行えます。



【支援システム】

分析システムと合わせてさらに業務の効率化やサービスの付加価値をつける製品となります。Excel 分析値入力オプションは現在ご利用の Excel 野帳をそのままの形でシステムへ取込することが可能です。分析データ取込は様々な機器から出力される値をシステムへ取込することが可能です。検査結果照会はエンドユーザー様へ検査結果を提供する製品です。結果の速報や過去に検査した結果を検索、集計などができる環境をエンドユーザー向けサービスとしてご提供します。



賛助会員として皆様にお役に立てるように

創業以来環境検査業界へ携わり続けてまいりました。多くの叱咤激励を頂きながら、思いを込めて1つ1つシステムの作成をしてまいりました。同時に、世の中のITに対する考えや位置づけは大きく変化し、今ではDX化の流れもあり、ITは欠かすことのできないインフラとなっており、当社が皆さまのお役に立てることを考えると、これからの世の中に合った新しい製品を生み続け、一緒に考え、そして業界の発展に貢献する事だと考えております。愛環協を始め環境検査業界の健全な発展の一助となれるよう、精一杯取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



事務局からのお知らせ

【精度管理研修会②（中堅実務コース）】

令和5年9月28日（木）・29日（金）
オンライン開催

【環境計量士等研修会】

令和5年11月17日（金）
オンライン開催

【施設見学会】

半田赤レンガ建物
令和5年10月13日（金）

○夏季休暇のお知らせ

8月11～15日は、夏季休暇となります。

システムに関するお問い合わせ先

株式会社エイビス
環境ソリューション本部
営業部 小池 翼
097-536-0999



編集後記（小西 成実）

刺すような日差しが照りつけたかと思えば、突然の大雨。これぞまさに日本の夏という風情を感じる今日この頃、梅雨明けの暑さのみならず、中々おさまりきらないコロナ禍という意味でも落ち着かない日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

委員会の組織改編にともない、旧広報委員会は、新たに企画・広報委員会として再始動いたしました。かくいう私も、このたび新たに委員の末席に名を連ねた一人です。本号の作成におきましても、作り方が今までとは変わっている部分があり、委員長を始めとした皆様にご多大なるご尽力を頂きました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

作り方が変わったとしても、中身に変わりはありません。今後とも精進を続けて参りますので、引き続き「あいかんきょう」をよろしくお願ひいたします。

発行人 (一社)愛知県環境測定分析協会
会長 大野 哲
〒460-0022
名古屋市中央区金山1-2-4
アイディアエリア405号
TEL: 052-321-3803
FAX: 052-684-4238
E-mail: aikankyo@nifty.com

編集 (一社)愛知県環境測定分析協会 企画・広報委員会
委員長: 角 信彦
副委員長: 石井 良考、大場 恵史
委員: 山本 浩明、志治 豊吾、加藤 直孝
中野 雅則、松本 貴郁、野田 麻美
佐藤 勇人、日野 栄一、小西 成実